

和歌山県士会活動報告

令和6年4月～7月

担当部・委員会：普及啓発委員会

日程：2024/06/09

R6年6月9日（日）日本赤十字社和歌山医療センターリハビリ室にて、中高校生を対象に、作業療法士説明・体験会を行いました。和歌山市内の養成校である宝塚医療大学と和歌山リハビリテーション専門職大学の学生さんにもボランティアとして参加してもらい、作業療法の仕事内容や治療を体験してもらいました。参加された中高校生やその保護者の方からもたくさんの質問を頂き、興味をもって体験も行ってもらえました。



作業療法士になりたいと改めて思いました。今日はありがとうございました。

どんな作業を仕事でするか分かりました

作業療法士という職業を初めて知って、自分の進路の一つとしてとても勉強になりました。

ネットだけじゃわからないことも聞いてよかったしか、作業療法士に今までより興味が湧いた。ありがとうございました！

作業療法士について詳しく知ることが出来て、将来の選択肢が1つ増えました。実際に勤める施設を見られたり、作業療法士さんに質問できたり、具体的に作業療法士の仕事を想像できて、とても有意義な時間でした。自分なりに、もっと作業療法士について調べてみようと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました！

作業療法士について色々を知ることができて良い機会でした。また、体験を通して日常生活の動作の凄さに気づきました。とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

【体験会アンケート結果】

担当部・委員会：自動車運転と移動支援推進委員会

日程：2024/05/11

5月11日「地域での移動と生活を考える会@名草圏域」第1回講座を和歌山交通公園で実施しました。本講座は、和歌山県作業療法士会、和歌山県理学療法士協会、和歌山市第2層生活支援体制整備事業、和歌山市地域包括支援センター名草が共催で「安全運転延伸」と「運転終活」を組み合わせ計4回実施します。今回は、「加齢に伴う変化と自動車運転」をテーマとして、講話や体操、体力・認知能力測定に加え、和歌山県東警察署と和歌山ダイハツ(株)のご協力のもと反応測定シミュレーター、ドライビングシミュレーターやサポカー体験を実施しました。安全運転をできるだけ長く継続するために、ご自身の能力を把握することやそれに応じた運転習慣の見直し、また最先端の安全技術を活用することを講話や体験を通してお伝えしました。



担当部・委員会：自動車運転と移動支援推進委員会

日程：2024/06/07

6月7日「地域での移動と生活を考える会@名草圏域」第2回講座を和歌山交通公園で実施しました。本講座は、和歌山県作業療法士会、和歌山県理学療法士協会、和歌山市第2層生活支援体制整備事業、和歌山市地域包括支援センター名草が共催で「安全運転延伸」と「運転終活」を組み合わせ計4回実施します。今回は、「ヒヤリハットマップ作成」をテーマとして、和歌山県東警察署より「交通事故多発地点や頻発する事故について」の講話や和歌山県県民生活課より「交通安全ヒヤリハットマップ作成」に関するグループワークを各地区に分かれて実施していただきました。また前回開催した際の体力・認知測定結果の振り返りや体操も行いました。ヒヤリハットするような地点を把握し、心の準備や経路の見直しなどを行うことが安全運転を継続するためには重要であることを改めて学びました。



担当部・委員会:事務局

日程:2024/06/16

令和6年6月16日(日)10時～12時まで、和歌山リハビリテーション専門職大学にて新入会員オリエンテーションを開催致しました。内容は例年通り、事務局より和歌山県作業療法士会についての説明、倫理委員会より職業倫理と倫理問題について、教育部にて生涯教育制度についての説明がありました。新たに27名の新入会員の方が入会されました。



担当部・委員会:技術研修会運営委員会

日程:2024/06/16

令和6年6月16日(日)13:00～16:00、和歌山リハビリテーション専門職大学にてゼロイチ研修会を開催しました。午前中の新入会員オリエンテーションと共同開催であったこともあり、多くの新入会員のみなさんにご参加いただきました。研修会では転倒転落対策としてKYT(危険予知トレーニング)を用いたグループワークや、基本動作の実技練習など賑やかな雰囲気での開催となりました。



担当部・委員会：地域支援事業推進委員会

日程：2024/07/05

保健事業と介護予防の一体的実施は、今年度より全市町村で取り組みをはじめることになっている事業です。研修では、事業の概要と事業にどのように作業療法士が関わっているのかを福岡県嘉麻市での実践を通して説明頂きました。特にハイリスクな方に保健師に作業療法士が同行訪問し、介護予防事業につなぐ関わり方が特徴的でした。講義後に意見交換を行い、地域の事業について多職種が共に考え、連携することの大切さを確認しました。参加者合計は37名（作業療法士25名、保健師7名、地域包括支援センター3名、行政職員2名）でした。

担当部・委員会：自動車運転と移動支援推進委員会

日程：2024/07/03

両総会にて、「高齢者に対する安全運転教育の取組と高齢者健康体操について」をテーマに講演させていただきました。交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」を合言葉に、登下校時の児童等の見守り活動や交通安全教室の実施など様々な交通安全活動を実施している会です。交通指導員は、登下校時の交通指導や交通安全教室の開催など交通安全活動を行っており、和歌山県では黒潮国体開催時より市長から委嘱を受けて行なっています。交通安全活動に携わる方々に作業療法士の存在や我々が行っている自動車運転や地域で移動することへの関わりについて周知できる貴重な機会をいただきました。知らないことが知れた、他の人にも知ってほしいなど好評のお声をいただいております。このような交通安全等に関する講話を行うことも可能ですので、ぜひ作業療法士にご依頼ください。



担当部・委員会：MTDLP推進委員会

日程：2024/07/20

オンラインで、MTDLP基礎研修を実施しました。概論を行った後、グループワークで理解を深めることができました。これからも、MTDLPを盛り上げたいと思っています。参加された皆様、お疲れ様でした。